

## 海外安全対策情報（令和2年4月～6月末）

### 1 治安情勢と一般犯罪の傾向

#### (1) シカゴ市

シカゴ市警察が発表する統計によると、2020年第2四半期（4月～6月末まで）までの同市における主要犯罪（殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、自動車窃盗）の発生件数（7月5日時点で判明している数字）は合計22,013件となり、前年同時期比で約9%減少しました。

他方、総数的には減少傾向ですが、殺人は前年比+39%、けん銃等の発砲事件は+42%と急激に増加していることから引き続き警戒が必要です。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安が劣悪なほか、中心部においてもひったくり等の犯罪が発生していることから十分な注意が必要です。 主要な犯罪の発生状況は以下のとおりです。

#### シカゴ市内における主要犯罪の発生数

（1月～6月末まで（7月5日時点で判明している数字）、増減率は概数）

	2020年	2019年	増減率
殺人	353	254	39%
強姦	851	1060	-20%
強盗	3,601	3,783	-5%
重傷害	3,137	3,189	-2%
侵入窃盗	4,618	4,596	0%
窃盗	5,075	6,857	-26%
自動車窃盗など	4,378	4,500	-3%
けん銃等の発砲	1448	1018	42%

#### (2) 他の管内諸都市

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域には、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりするなど犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

### 2 シカゴ中心部の犯罪傾向

シカゴ市警察が発表している最近シカゴ中心部で発生している犯罪の特徴は以下の通りです。

- レストランで食事中，スマートフォンをテーブルに置いたままトイレに行き，その間にスマートフォンを盗まれる。
- 見知らぬ人に話しかけられ，答えている間に他の仲間がスリを行う
- 人が多いエレベーターや回転扉で自分の降りる階や順番に気を取られている間にスリ被害に遭う。
- トイレの個室を使用中，個室のフックに掛けたバッグ等を個室外側から手を入れられて盗まれる。
- ライドシェアを装い，夜間酔っ払いに近づいて乗車させ，クレジットカード等を盗む（使われる車は偽造したライドシェアのステッカーが貼られたりして本物と間違いやすくなっている）
- 多数の若者が街を徘徊しながら歩行者を襲撃して金品を奪う。

#### 《シカゴ警察からの被害に遭わないためのアドバイス》

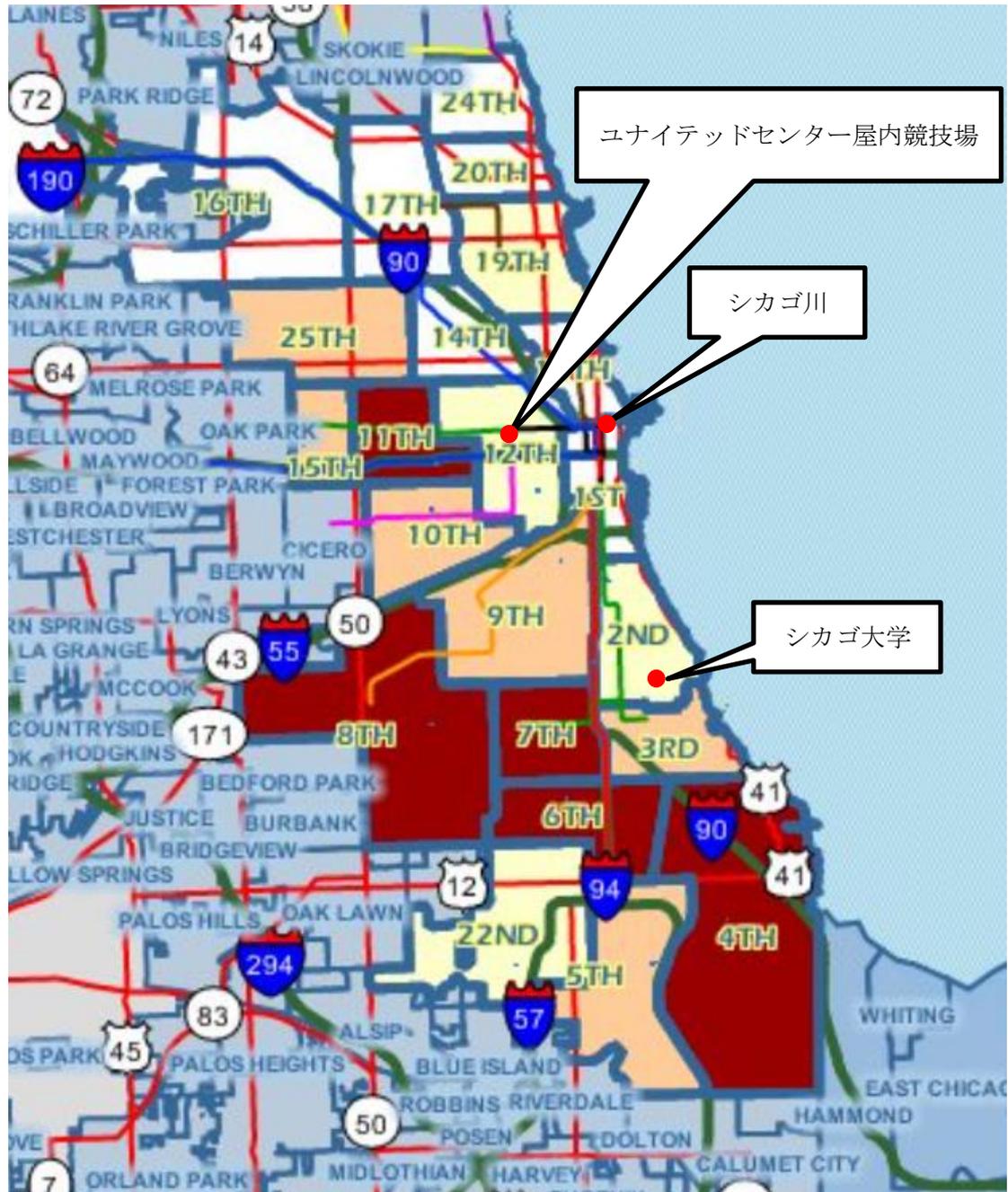
- カバンを持つときはたすき掛けにせず，利き手と反対側の肩に掛けて持つ。（たすき掛けにすると引き倒されて負傷する恐れがある。利き手の反対側の肩に掛けるのは利き手で攻撃に対する防御が出来る可能性があるため。但し犯人は武器を持っている可能性があるので原則抵抗はしない。）
- 電車やバスの座席に座る場合は荷物を自分の前に置く。
- 公共の場所で金品やスマートフォンを見せない，使用しない。
- ヘッドフォンを装着したまま歩いたり，スマートフォンを使用しながら移動しない。
- 車，人通りが多い道を使用する。
- 外出する際は行き先，ルート，帰宅時間等を家族に伝えておく。
- 財布は後ろのポケットに入れず，前のポケットに入れる。
- 高級ブランド品，高価な宝飾品を持ち歩かない。
- 知らない人に自分の個人情報，家族等の情報を言わない。
- 家の鍵，車の鍵，財布をそれぞれ別に持つ，全て同じバッグに入れると全て同時に盗まれる恐れがある。
- エレベーターに乗る時，不審な人物が乗っていたら乗らない。

### 3 シカゴ市内の犯罪発生場所

以下の地図は4月～6月末までの各犯罪の発生件数（7月5日時点で判明している数字）を警察署（ディストリクト）別に示したものです。色別に仕切り

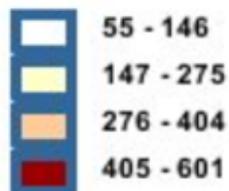
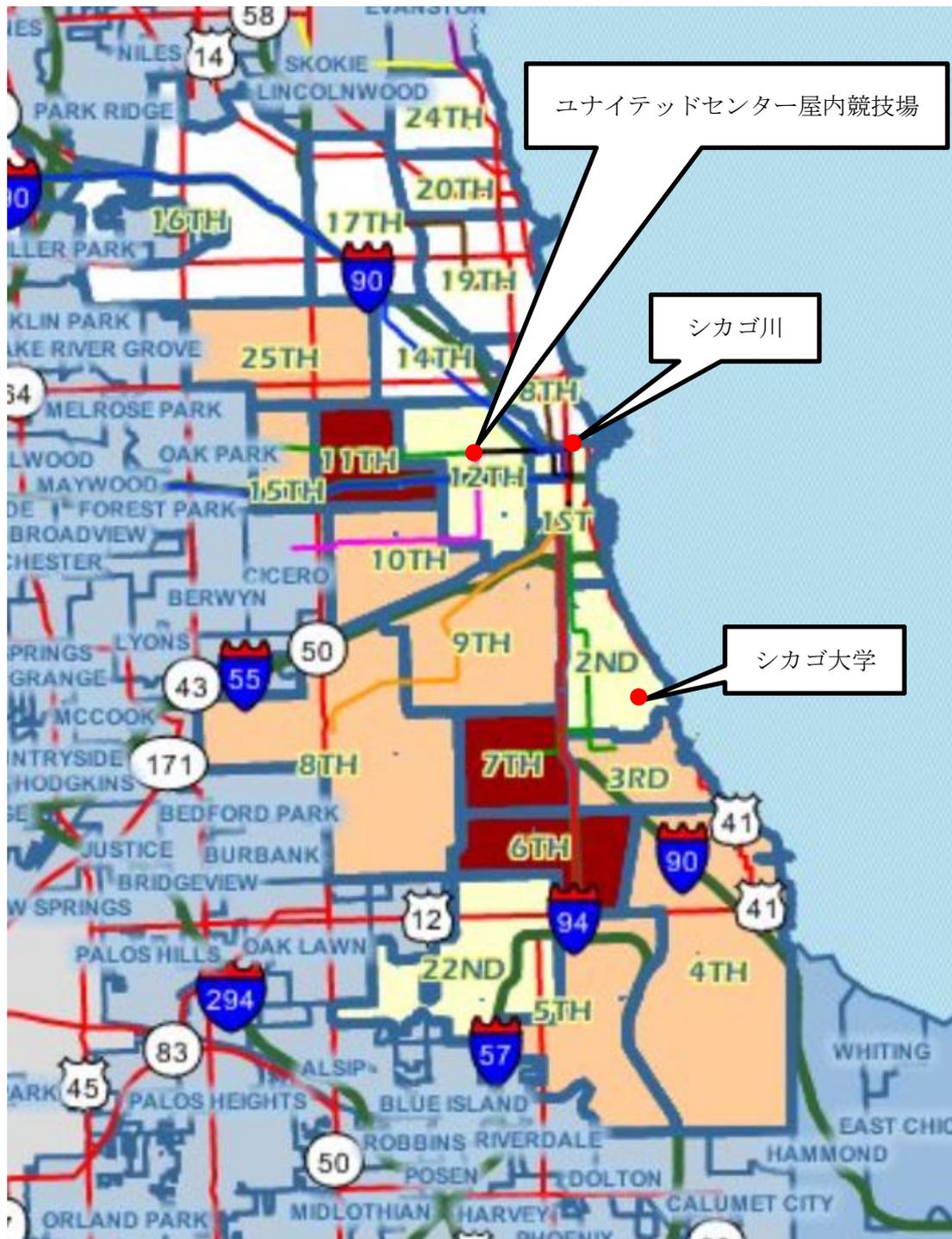
れているそれぞれの箇所が各警察署の担当地区になります。

全犯罪（発生した全ての犯罪）



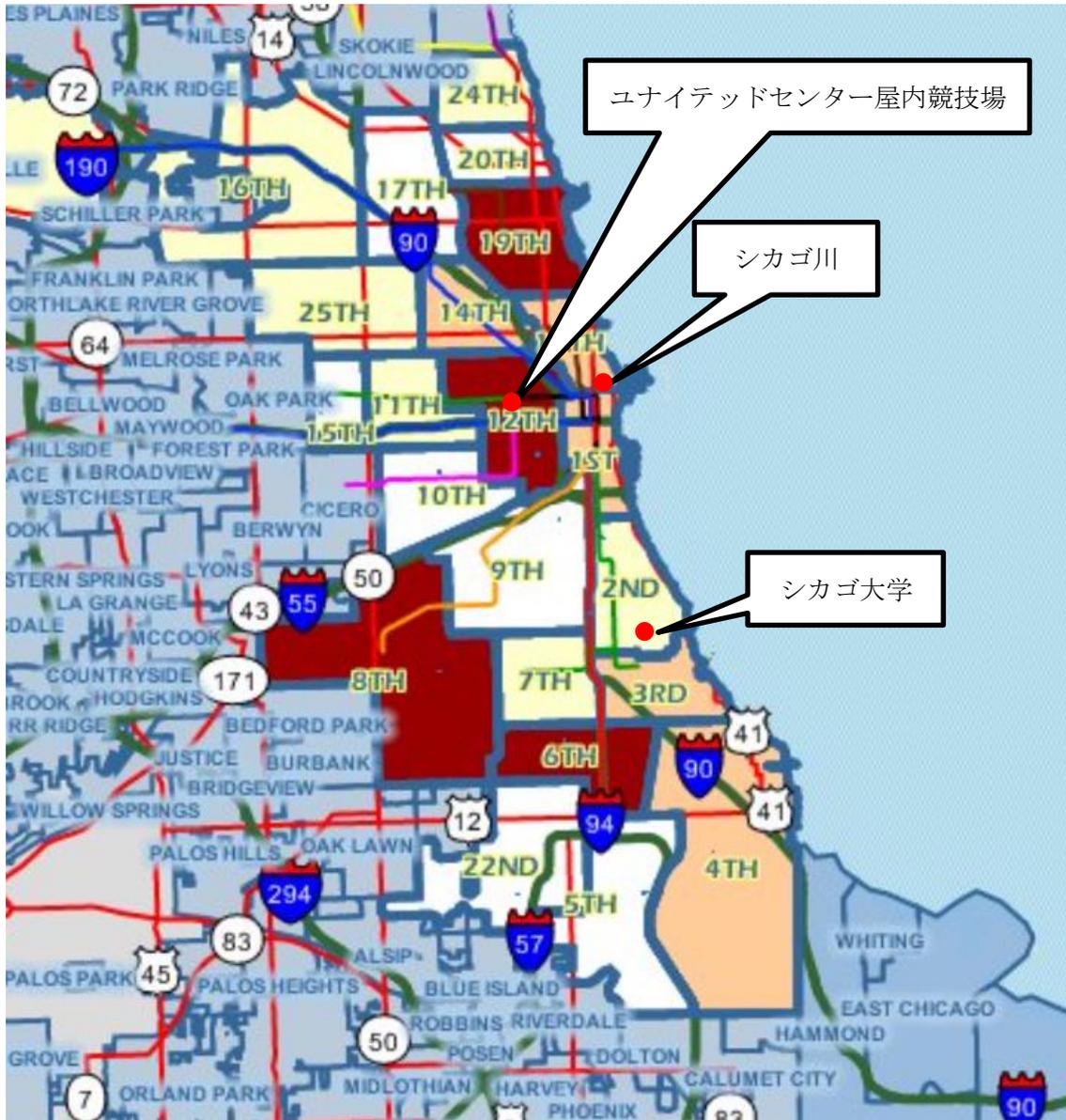
※数字は発生件数を示す

凶悪犯罪（殺人，強姦，強盗，重傷害，侵入窃盗，自動車窃盗）



※数字は発生件数を示す

窃盗（建物内への侵入を伴わないもの）



#### 4 新型コロナウイルス感染症に関連した不審電話、詐欺等

新型コロナウイルス感染症拡大を利用して電話、電子メール等により個人情報を不正に入手して悪用するケースが増加しているとして米国司法省等が注意を呼びかけています。これまでの例として以下があります。

- (1) 新型コロナウイルス検査，治療等の提供を持ちかけるもの
- (2) 米国歳入庁（ IRS ）職員を騙るもの
- (3) 違法または存在しない慈善団体への寄付勧誘
- (4) ソーシャル・セキュリティ番号の不適切使用により，同番号が間もなく使えなくなると不安を煽り，個人情報入手しようとするもの

犯罪者，犯罪組織は，手に入れた個人情報を使って，皆さんになりすまして様々な犯罪活動に使用します。発生した損害が皆さんに請求されてしまうこともありますので，絶対に個人情報を伝えないよう注意してください。

政府機関が電話で，個別に個人情報の提供等を求めてくることはまずないとお考えください。